



萌 木

7 月 号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和7年7月17日発行

確かな学力

校長 山田 勝

42（＋2）日間の夏休みを迎えます。そこには、一人一人に公平に同じ時間があります。その時間をどう使うのか、決めるのは自分自身です。自分を成長させるために、この時間を使って欲しいと思います。その時間の使い方を決めるのは自分ですが、その使い方への責任も自分自身にあります。「時間をどう使うか」を常に意識することだけでも成長につながります。「夏休みの課題」も各学年・各教科の段階に応じ示されていますが、自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めていく機会にもしてほしいと思います。

定期考査や入学試験など「正解」を求めることが優先される学力もありますが、その正解にたどり着くまでの過程でこそ身につく力をじっくり育ててほしいと思います。七中の授業ではアウトプットすることを意識して取り入れ、思考の過程を言語化して学習内容を定着させることに取り組んでいます。

夏休みの自発的な学習として、例えば数学であれば計算問題などのワークに取り組むことで知識や理解が深まりますが、それに加え、行間や「＝」で結ばれた式の理由やその意味を考えることに取り組むことで論理的に考える力を伸ばすことが期待できます。このことは、他の教科でも同じことがいえるので、是非課題以外の自発的な学習として取り組んでほしいと思います。

このような取り組みなどを通して、「論理的に考える力」を伸ばすことは、地頭を鍛え、読み解く力なども伸ばすことや知識・理解を深め、より考え学ぶ力を伸ばすことにつながります。本を読むことと同様に、少し遠回りかもしれませんがすぐには成果が見えない取り組みも夏休みに意識して取り組むことで、確かな学力の獲得ができる素地を作してほしいと思います。

夏休みに向けて校訓「自尊・立志・感動」に基づいためあてをしおりなどで示しています。

- 「自尊」【自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒】について
 - ・みなさん一人一人はかけがえのない存在です。「自分を大切にし、他の人を大切にする」ことを意識して生活していきましょう。SNSのトラブル防止など周りに配慮する姿勢が、自分を大切にすることにもつながります。当たり前のことにしっかり取り組みましょう。
- 「立志」【夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒】について
 - ・自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めていきましょう。休み中の自発的な学習は、自分を高め、自信につながります。中学校1年生の、あるいは2年生、3年生の夏は人生に一度しかありません。1学期の学習の結果を振り返り、不得意な教科や単元の学習に積極的に取り組み、学力向上を図りましょう。
- 「感動」【心と体を鍛え、感動を生む生徒】について
 - ・4つの生活習慣「体を動かすこと」「食えること」「寝ること」「排泄すること」が良いサイクルで連鎖することで、学びへの土台・環境が整います。
 - ・生理的欲求以外である「体を動かすこと」を意識して、自分の生活リズムを整えていきましょう。そのためにも、心と体のバランスを保ちながら生活できるよう心掛けましょう。

自分の裁量となる時間が増える夏休みを通し、七中生がどのような成長してくるのか、2学期が楽しみです。